

平成19年度 企業内家庭教育学習講座（フォーラム）

近江八幡市立総合医療センター

テーマ「みんなで子育て 心育て」

講師に今関信子氏（児童文学作家）を迎えて



期日 平成19年11月15日（木）

時間 午後5時30分～6時40分

会場 近江八幡市土田町 1379 近江八幡市立総合医療センター 1階よしぶえホール

滋賀県家庭教育協力企業協定制度締結企業

対象 従業員20名（男性1名・女性19名） 講師 今関信子氏（児童文学作家）

《参加された方々の感想より》

途中からの参加となり、初めから聞きたかったです。こうでなければならぬという思いがありましたが、話を聞いていて、自分が自然体であればよいと、気持ちが楽になりました。いつも子どもが見ている、ホッとする空間をつくりたいと思います。

（30代・女性）

働いているから（看護師という不規則な勤務）子育てには不安がいっぱいです。だからこそ、自分の生き方を確認する意味でも、お話を聞かせていただく意味があると思います。頑張っている私たちに、誰かに「大丈夫だよ」と言ってほしいものです。今関先生のお話は、表情豊かに気持ちを込めて、私たちを、働く母を応援していただきました。最後の「空気が育てる」というところで、感動で涙が出てきました。（40代・女性）



医療者・看護師としては第3者になれても、親になると、どうしても感情的になり、日々仕事に追われ、子どもにやつあたりしている自分がいます。それが自分の中でも負になっています。ただ、本日、お話を聞いて、「子どもを愛している心をしっかりもっていれば、大丈夫なんだ」と少し安心しました。ありがとうございました。(40代・女性)

本当にあったかいお話で、自分の子育てと照らし合わせて、涙が出る思いでした。いつも仕事で帰りも遅いので、中学生の子どもたちがどのように思っているのか、自分の子育てが間違った方向にいけないか、自問している最中の私には、とっても心が洗われる思いで聞かせていただきました。(40代・女性)

子育ては死ぬまでと思うなか、孫ができ、スポーツ少年団の指導者を30年していますが、今は子どもに育てられ、孫に祖父として育てられ、団員に大人として育てられています。つい経験で見えてしまうなか、子どもたちの無限の力で充実した日々を過ごしています。ありがとう、希望の子どもたち。(50代・男性)



自分の子育てはすでに終わってしまっている年代ではありますが、自分の子育てが間違っていたのではないかと日々不安に思うことがあります。でも、先生のお話をうかがって、少し安心しました。大きくなって親から離れていくことが特別なことではなく、子どもが育っていることなんだと思いました。また、機会があればもう一度お話を聞きたいです。